

モニタリング結果報告書

施設名 : 県立辻堂海浜公園・湘南汐見台公園

指定管理者 : (公財)神奈川県公園協会・(株)オーチューグループ

施設所管課(事務所名) : 藤沢土木事務所

(平成22年度 下半期)

管理運営状況総括

1 月例報告書によるモニタリングの概況

報告月	受理日	確認通知日	備考(確認事項等)
10月	11月10日	11月27日	現地確認・月報等で概ね良好に業務が行われていることを確認
11月	12月10日	12月26日	現地確認・月報等で概ね良好に業務が行われていることを確認
12月	1月10日	1月27日	現地確認・月報等で概ね良好に業務が行われていることを確認
1月	2月10日	2月28日	現地確認・月報等で概ね良好に業務が行われていることを確認
2月	3月10日	3月28日	現地確認・月報等で概ね良好に業務が行われていることを確認
3月	4月10日	4月27日	現地確認・月報等で概ね良好に業務が行われていることを確認

2 指定管理者の選定理由にある取組み等の実施状況

(1) 提案内容の達成度

A : 提案を上回る B : 提案どおり C : 提案を下回る

(2) 実施状況等

指定管理者の選定に際して、サービスの向上や利用促進の観点から提案された各取組み等について、提案内容の要旨とそれに対応する形で実績又は今後の見込みを記載する。

<提案内容の概要>

公園の特性を生かした「公園まつり」「ユニバーサルカヌー教室」などの利用促進の実施。

<実施状況>

10月	辻堂海浜公園まつり	参加者数	約17,000名
	秋のユニバーサルカヌー教室	参加者数	約951名
12月	イルミネーション&ライトアップ	参加者数	約28,000名
2月	子ども駅伝大会	参加者数	800名

3 収支状況

(単位：千円)

	収入額				支出額	収支差額
	指定管理料	利用料金 (前年同月料金額)	その他収入 (前年同月料金額)			
年間予算額	304,750	-6,000	88,750	222,000	304,750	0
上半期計 (a)	259,630	-6,000	122,337 (83,193)	143,293 (85,659)	189,295	70,335
10月	16,938	0	1,971 (1,851)	14,967 (15,842)	20,452	△ 3,514
11月	13,272	0	2,147 (1,996)	11,125 (9,847)	16,456	△ 3,184
12月	9,740	0	1,240 (1,940)	8,500 (7,496)	26,123	△ 16,383
1月	11,093		1,804 (1,378)	9,289 (11,689)	16,485	△ 5,392
2月	7,805	0	1,432 (295)	6,373 (5,759)	15,819	△ 8,014
3月	7,070	0	1,366 (1,704)	5,704 (10,242)	22,603	△ 15,533
下半期計 (b)	65,918		9,960 (9,164)	55,958 (60,875)	117,938	△ 52,020
合計 (a+b)	325,548	-6,000	132,297 (92,357)	199,251 (146,534)	307,233	18,315

1 指定管理者の収入を記載する（県の収入である「使用料」は含まない）。

2 「その他収入」は、都市公園の駐車場収入、雑収入、寄付金収入など指定管理料と利用料金以外のすべての収入を記載する。

収支状況に関する意見等

- ・半期計欄の収支差額が、収入額又は支出額のうち低い方の額の1割以上プラス又はマイナスとなっている場合は、その理由を分析し記載するとともに、必要な場合は、対応策も併せて記載する。
- ・また、収支差額に1割以上プラスが生じた主な理由が、人件費の削減である場合は、年度協定における人員配置計画と比較し、合理性が認められるか否かを記載する。
- ・年間予算額の収支が均衡していない場合は、その理由を記載する。

下半期は施設補修を重点的に行い支出増となったが、夏季の酷暑の影響でプール収入が大幅に増収となり、指定管理制度を導入して初めて年間収支が黒字となることが出来た。

(今期に行った資本的な収入及び支出の状況)

	内容	金額(千円)
収入の状況		
支出の状況	特になし	

収入の状況：定期預金の取り崩し、借入れによる収入があった場合等は、その旨を必ず記載する。

支出の状況：車両の購入、施設の増改築、また定期預金の積み立てを支出に含めた場合等は、その内容を必ず記載する。

積立等の状況：積立・借入れ等がある場合は、その内容（施設の増改築のための積立・借入れ、定期預金等）、当該期首及び期末の金額を必ず記載する。

4 利用状況

	利用者数		前年同月利用者数		前年対比増減率	
	辻堂海浜公園	汐見台公園	辻堂海浜公園	汐見台公園	辻堂海浜公園	汐見台公園
上半期計 (a)	1,070,668人	50,396人	1,083,173人	52,589人	△1.2%	△4.2%
10月	139,221人	10,262人	142,014人	11,413人	△2.0%	△10.1%
11月	123,453人	8,002人	109,140人	6,952人	13.1%	15.1%
12月	112,939人	6,207人	111,801人	5,619人	1.0%	10.5%
1月	103,887人	7,280人	116,562人	6,288人	△10.9%	15.8%
2月	80,225人	6,554人	59,883人	5,165人	34.0%	26.9%
3月	80,470人	6,725人	106,479人	6,274人	△24.4%	7.2%
下半期計 (b)	640,195人	45,030人	645,879人	41,711人	△0.9%	8.0%
合計(a+b)	1,710,863人	95,426人	1,729,052人	94,300人	△1.1%	1.2%

利用状況に関する意見等

〔 半期計欄の前年対比増減率が、1割以上プラス又はマイナスとなっている場合は、その理由を分析し記載するとともに、必要な場合は、対応策も併せて記載する。 〕

〔 寒波や3月に発生した東日本大震災の影響等による利用者減があったが、それほど大きな利用者減はなかった。前年度2月は、天候不順であったり、施設改修工事のため交通公園の利用者が減少したが、今年度は例年並みの利用者であった。 〕

5 苦情・要望等の状況 (施設受付分)

報告月	口頭		文書			合計
	対面	電話	手紙	メール	アンケート	
10月	1	1	1			3
11月						0
12月	2	1		1		4
1月						1
2月	1			2		3
3月	1					1

(施設所管課受付分)

報告月	口頭	文書	合計
10月			
11月			
12月			
1月			
2月			
3月			

6 特筆すべき苦情・要望等及び対応状況

〔 類似の苦情や要望が多く寄せられたもの、苦情や要望をもとに対応した取組みが利用者に評価されたもの、苦情や要望のうち対応したいと考えるが、諸般の事情により対応できないものなどを記載する。 〕

分野	概要	対応状況
施設・設備		
職員対応		
事業内容		特になし
その他		

7 事故や不祥事等の発生状況

利用者や職員が死傷した場合、業務の実施において法令違反等による指導や処分を受けた場合及び個人情報や公金の管理等において不適切な取扱い等があった場合は、その概要と対応状況を記載する。なお、利用者の死亡事故や個人情報の流出等、重大な事故や不祥事が発生した場合は、県庁改革課に任意の様式により速やかに報告書を提出する。

発生日	概要・対応状況等
月 日	特になし
月 日	

8 随時モニタリングの実施状況

事故や不祥事の発生等に伴い、施設所管課が随時モニタリングを実施した場合は、調査内容や結果を記載する。

実施日	対応者等	経緯・調査内容	調査結果
月 日		特になし	
月 日			

9 下半期の所見等

1～8の各項目の状況等を踏まえ、指定管理業務をより効果的・効率的に推進する観点から、反省点や改善策等を記載する。

指定管理者	イベント内容を充実させ、期間やエリアを工夫し、利用促進に取り組んできた。県民参加による実行委員会等の運営も軌道にのってきている。また、イベントだけに頼らないよう、水仙ガーデンを創出したり、交通公園のコース沿いに花を増やし、2期2年目は「みどり」に力をおいた。また、効果的管理を目指し、3者（直営、造園組合、専門学校）のコラボのガーデン管理を実施し、松の手入れを充実できた。3年目は今まで手を入れてなかった所に取り組みたい。
施設所管課	規定の維持管理水準を確保しながら、利用促進事業を積極的に展開し、全ての費用を利用料金等で賄うことが要求されるなかで、年間での黒字を確保した。